

自分の ACS 5.x ダッシュボードに表示される「delete 20000 sessions」アラームについて

目次

[概要](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Secure Access Control System (ACS) 5.x のダッシュボードに表示されることがある「delete 20000 sessions」アラームについて説明します。

注: このコンテンツの作成者は、Cisco TAC エンジニアの Dragana Radmilo です。

Q. 自分の ACS 5.x ダッシュボードに表示される「delete 20000 sessions」アラームについて

A. このアラートは情報提供を目的としたものであり、ACS View が認証セッションを追跡しているために生成されます。

ACS View はすべてのセッション (RADIUS および TACACS の認証、許可、アカウントिंग) を維持します。同時に追跡できるセッション数は 250,000 個です。セッションが 250,000 個を越えるたびに、200,000 個分のセッションを削除しようとします。この時、アラームが送信されて ACS ダッシュボードに表示されます。

通常、ACS は ACCOUNT_START と ACCOUNT_STOP というアカウントिंगレコードを追跡することにより、セッションの認証を追跡します。しかし、ACS View が ACCOUNT_STOP レコードを取得しない場合、セッション数は減りません。その結果、ACS View が ACCOUNT_STOP を受信しないアクティブセッションはそのままになり、2 日後に期限切れとなります。

この問題は、Cisco バグ ID [CSCtj69797](#) ([登録ユーザのみ](#)) で対処されています。

注: これらのメッセージは単に情報提供を目的としたものであり、認証には影響しません。

関連情報

- [Cisco Secure Access Control System のサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)